



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	教職高度化研究部門
Citation	子ども発達臨床研究, 8, 40-41
Issue Date	2016-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/61355
Type	other
File Information	84_Katsudohoukoku.pdf



教職高度化研究部門

教職高度化研究部門は、教師の成長・発達に関わる研究の推進、ならびに本学の教職課程の高度化に向けて調査研究を進めている。以下に本年度の主な活動について報告する。

1. 教職課程履修学生を対象とした調査

本学の教職課程の高度化に向けて、昨年度より教職課程の履修状況や課題について調査している。本年度は、教育実習の成果と課題を探索するため、事後指導において質問紙調査を行った。昨年度の事前指導で行った調査と合わせて、教育実習の成果と課題を分析し、今後の教育実習の在り方を検討していく予定である。

また、関あゆみ准教授を代表とする特別研究推進経費プロジェクトの一環として、本学の教職履修学生および北海道内の教員を対象として、発達障害等に対する質問紙調査を行った。この後3で取り上げる教職高度化フォーラムでその報告を行う。

2. 大学院授業科目「学校フィールドワーク実践研究」の実施

昨年度の教職課程履修学生を対象とした調査から、教職履修者の約半数が大学院へ進学すること、その9割以上が少なからず修了後に教職に就くことを検討していることがわかっている。しかし、学生は各自の専門分野の学問研究を学んでおり、大学院の2年間で教職に携わる機会が皆無である。そこで本年度は、高校でのフィールドワークと、その実践経験を対象化して研究する大学院共通科目「学校フィールドワーク実践研究」を設けた。受講者数は8名で、カリキュラムは以下の通りである。

第1回：10月7日

オリエンテーション

第2回：10月14日

教育実践研究へのいざない

第3回～6回：10月15日～11月3日

札幌北高校定時制におけるフィールドワーク①

第7回：11月4日

フィールドワークの振り返りと課題発見

第8回～11回：11月5日～1月12日

札幌北高校定時制におけるフィールドワーク②

第12回：11月11日

教師の力量向上と校内研修

第13回～14回：11月13日～27日

小学校における公開授業研究、事後検討会への参加

第15回：1月13日

授業および事後検討会の省察と分析

3. 教職高度化フォーラムの開催

2016年3月10日に、『今後の教職制度改革と大学院における教職の高度化』をテーマとして教職高度化フォーラムを実施した。二つの研究報告と、シンポジウムを企画している。概要は以下のとおりである。

日時：2016年3月10日(木)

13時30分～17時00分

会場：北海道大学教育学部3階会議室

プログラム：

①報告『今後の教職制度改革の見通しと北大の教職課程』

近藤 健一郎（北海道大学）

②調査報告『特別支援教育に対する学生の意識と教員養成の役割』

安達 潤（北海道大学）

③シンポジウム『研究志向の大学院における教職の高度化』

播 良夫（北海道札幌北高等学校）

伊藤 茜（北海道大学大学院生命科学院）

槇口 馨（北海道大学大学院理学研究院）

姫野完治（北海道大学）

指定討論 Sarkar. Arani, M. R.（名古屋大学）

コーディネータ 大野 栄三（北海道大学）

4. 教職大学院の現状についての調査

2008 年度に教職大学院が開設されて、間もなく 8 年が経過する。国立大学 15 校、私立大学 4 校の計 19 校からスタートし、現在は国立大学 21 校、私立大学 6 校で運営されている。これに加え、2016 年度からは新たに 19 校の開設が予定されている。教職大学院が未設置の 8 県についても、2017 年度に開設するよう検討が進められている。今後、教員養成機関としての教職大学院の位置づけがますます重要になる。

一方、北海道大学のように教員養成を主たる目的としない大学院においても、中学校や高等学校教員を志望する学生がおり、修了後に教職に就いている。大学院生が将来教師になったときに、修

士課程で培われる各学問分野の専門性が教科教育で生きることは間違いない。しかし、現状の大学院教育では、教科指導や特別支援教育などについてのより高度な内容を学ぶ機会が約束されているとは言い難い。本学教育学院が全学に対して、教職大学院とは異なる専門的なカリキュラムを提供し、大学院レベルの教職課程の高度化を検討していくことが求められている。

今年度は、教職大学院におけるカリキュラムの特徴や学生支援の在り方に関する情報を収集するため、2015 年 12 月 5 日～6 日に行われた教職大学院協会主催の研究大会に参加した。先導する教職大学院による実践報告や大学院生による研究成果発表をふまえ、本学教職課程に援用可能な方法を検討した。